

# 学会ニュース

(No. 57 / 2020. 7)

事務所 〒162-0808 東京都新宿区天神町 78 TEL&FAX 03-3267-0200  
学会公式サイト <http://www.keiei-gakkai.jp/> E-Mail [jaba@keiei-gakkai.jp](mailto:jaba@keiei-gakkai.jp)

日本経営学会理事長よりご挨拶	②会員番号の導入について..... 4
新型コロナウイルス感染拡大防止について..... 1	③払込取扱票以外の会費振込（年会費の電子決済） について..... 4
日本経営学会第94回大会予告..... 1	機関誌編集委員会からのお知らせ..... 4
日本経営学会第94回大会情報..... 2	国際委員会からのお知らせ..... 5
日本経営学会 第95回大会開催校について..... 3	倫理委員会の活動について..... 5
日本経営学会メーリングリスト【JABA-ML】登録の お願い..... 3	事務連絡事項
日本経営学会ホームページでの会員書籍紹介の募集 3	会員情報の変更届に関するお願い..... 6
学会事務所の業務改善の取り組み..... 4	新たな会員種別について..... 6
①各種書類の電子発行について..... 4	

## 新型コロナウイルス感染拡大防止について

皆様ご承知の通り、新型コロナウイルスが世界的に猛威をふるっており、大学での教育・研究も、また各種の学会や研究集会も、大きな修正を余儀なくされています。

日本経営学会におきましても、目下さまざまな対応を考えておるところです。まず、第94回大会についてですが、大会運営の具体的な在り方を、開催校（慶応義塾大学）ともご相談しつつ検討を進めております。現時点では大会の開催される9月初旬の状況を正確に予測することは困難な情勢ですが、随時、会員各位宛てに、今大会の在り方につきまして学会ホームページやメーリングリスト等を通じてご案内させていただきます。目下、オンラインで大会を実施する方向で検討いたしておりますが、細部はまだ詰め切れておりません。具体的な運営や参加方法等につきましても、併せてご案内させていただきますので、今しばらくお時間をいただけますようお願い申し上げます。

各地方部会の運営も、すでにいくつかの例会は中止となっており、またここ数か月先の例会についても中止または延期せざるを得ない状況ではありますが、今後の見通しにつきましては、各部会代表理事よりご案内させていただくことになろうかと存じます。

加えまして、大学院生など経済的に困窮している会員を対象に、年会費等の支払いを猶予するなど、学会としての支援の在り方について目下検討を開始したところです。

当分の間、日本経営学会も前代未聞の苦しい状況下に置かれることは致し方ない情勢ではありますが、何とか知恵を絞り、当学会の発展および会員各位の教育研究の今後のさらなる進展のために、可能な限り邁進したいと念じておる次第です。

会員各位におかれましても、コロナにはくれぐれもご注意ください、どうかご健勝にお過ごしください。

日本経営学会理事長 上林憲雄

## 日本経営学会第94回大会予告 2020年9月2日(水)～9月5日(土)

於:オンライン開催を予定

日本経営学会第94回大会は、2020年9月2日(水)から9月5日(土)(ただし9月2日は常任理事会・理事会・各種委員会のみ開催予定)の日程で開催されます。会場は慶応義塾大学・三田キャンパス(〒108-8345 東京都港区三田2丁目15-45)を予定しておりましたが、現状はオンラインでの大会開催の方向です。会員の皆様にはご不便をおかけすることになりますが、どうかご理解いただけますと幸いです。

さて、今大会の統一論題のテーマは、「日本の経営学者はどこに向かうべきか—『世界標準』の経営学と日本の経営学—」です。

「経営学とは何か」の問いは古くて新しいテーマであり、現在においても経営学を研究する者にとっては避けては通れない問いであろうと思われます。これとも深く関係しますが、「グローバル化」の進展は経営学の研究の在り方にも大きな影響を与えてるようになってきています。具体的には、欧米中心のジャーナル志向、ランキング志向、あるいはデータを用いた実証研究志向という点が挙げられるでしょう。経営学ははたしてどこに向かおうとしているのか、そして日本の経営学研究は如何にあるべきか、それを根本から問うてみようというのが今回の統一論題のテーマです。サブテーマ①は「世界標準」の経営学とはどのようなものか。それは進んだ研究なのか、サブテーマ②は日本の経営学研究は遅れた研究なのか、サブテーマ③は日本の経営学者はどのような方向を目指していくべきか、を議論します。まさに今後の経営学研究の進むべき方向を問うものであり、こうした点を今議論する意義は大きいものと考えられます。

また従来通り、プログラムには自由論題、院生セッション、ワークショップも含まれる予定です。

今回は新型コロナウイルスの影響でオンラインでの大会開催の方向ですが、詳細は決まり次第お知らせする予定です。多くの会員の皆様のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

(第94回大会プログラム委員長 勝部伸夫)

## 日本経営学会第94回全国大会 ご挨拶

大会実行委員長  
慶應義塾大学 菊澤研宗

日本経営学会第94回大会は、予期せぬ新型コロナウイルス問題発生のため、中止の危機にさらされてきました。そのため、通常よりも進行が遅れていることに対して、皆様に心からお詫び申し上げます。

事態は、いま徐々に良好な方向に向かい始めていますが、今後、新型コロナウイルス第2波の可能性も否定できません。そこで、現在、大会実行委員会では、Zoomによるオンライン大会(9月3日—5日)を企画しています。したがって、今大会では、懇親会を中止とさせていただきます。と思っております。

今大会は、日本経営学会にとって初めてのオンライン大会の試みのため、皆様には多大なご迷惑をお掛けするとともに、皆様のご協力を、ぜひともお願い申し上げます。

さて、今大会は、新型コロナウイルス問題のために、これに関係したテーマを掲げたほうがいいのではないかとと思われる方もおられるかもしれません。しかし、カレントな問題も重要ですが、伝統ある日本経営学会にとって、いま日本の経営学会に対して根本的に問われている、以下の疑念に取り組むことが急務だと思っています。

すなわち、グローバル化が進展する中、日本の経営学は世界から遅れているのではないか。世界から取り残されているのではないか。いわゆる「世界標準」の経営学と呼ばれている経営学と比べて、日本の経営学は遅れているのではないかという疑念です。

この疑念をめぐって、今回の統一論題では、以下の3つの問いについて議論する予定です。そして、このテーマのもとに、以下のように最高の研究者のみなさんに登壇してもらうことになりました。

### 統一論題

#### 日本の経営学者はどこに向かうべきか —「世界標準」の経営学と日本の経営学—

- (1) 「“世界標準”の経営学とはどのようなものか。それは進んだ研究なのか」

この問いをめぐって、今日、世界標準の経営学会で活躍している早稲田大学の三橋平氏、大阪大学の中川功一氏、そして早稲田大学の入山章栄氏に登壇していただく予定です。

- (2) 「日本の経営学研究は遅れた研究なのか」

この問いをめぐって、現在、日本の経営学会で活躍している早稲田大学の井上達彦氏、神戸大学の鈴木竜太氏、そして慶應義塾大学の菊澤研宗氏に登壇していただく予定です。

- (3) 「日本の経営学者はどのような方向を目指していくべきか」

この問いをめぐって、慶應義塾大学常任理事の渡部直樹氏をコーティネーターとして、現在の日本経営学会理事長の

上林憲雄氏、前日本経営学会理事長の百田義治氏、そして早稲田大学商学部長の藤田誠氏に登壇していただき、シンポジウム形式で行う予定です。

今大会は、日本経営学会の将来を問うような議論となりますので、ぜひ多くの会員のみなさんにご参加いただき、実り豊かな大会にしたいと思います。

皆様のご参加を心からお持ちしております。

2020年6月27日

## 日本経営学会 第95回大会開催校について

日本経営学会第95回大会は、2021年9月1日から4日に同志社大学（今出川キャンパス 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入）にて開催する予定です。大会は従来どおり3日間（9/2～4）とし、大会前日（9/1）には常任理事会・理事会・各種委員会を開催します。第95回大会プログラム委員会には、池内秀己、今西宏次、三戸浩、森田雅也の各委員が理事会選出委員として、主催校である同志社大学からは大会準備委員長の鈴木良始に加えて、太田原準と事務局の中道一心が参加いたします。本年2月から3月にかけてプログラム委員会において統一論題テーマの検討を行いました。

第95回大会の統一論題は「日本企業再生の課題」とすることを理事会に提案し、お認めいただきました。後日、このようなテーマにした趣旨やサブテーマについて、学会ニュースや学会ホームページを通じてお知らせいたします。

今回、試験的に主催校からの提案で、各サブテーマについて数回の研究会を企画することにいたしました。新型コロナウイルスの終息が見通せない情勢のなかで、いつ、どのような方法で開催できるか不透明でございますが、ひろくご参加いただける仕組みづくりを検討します。また、ワークショップ、自由論題報告、英語セッションなどにおいても、会員の皆様に関心を持って頂けるようなタイム・テーブルをご用意したいと考えています。

皆様をお迎えするスタッフの多くは同志社大学商学部所属しております。商学部の前身である同志社専門学校高等商業部（のちに同志社高等商業学校として独立）は1922年に開設され、まもなく設立100周年を迎えます。記念すべき時期に大会を開催することができますこと理事会ならびに会員の皆様に感謝申し上げます。私どもにとりまして第95回大会を100周年事業の一環として位置づけており、実業界からの特別講演の企画など会員の皆様に少しでも多くの魅力を感じていただけるよう準備を進めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

第95回大会準備委員長 同志社大学 鈴木良始

## 日本経営学会メーリングリスト【JABA-ML】登録・更新のお願い

現在、日本経営学会メーリングリスト（JABA-ML）を用いて、学会ニュースや部会開催情報などを配信しております。最近では新型コロナウイルスの影響による部会開催の中止・延期の情報など、会員各位への連絡手段として重要な役割を果たしております。まだメーリングリストにご登録いただけていない会員各位には、ぜひ学会ホームページよりご登録いただきますようお願いいたします。また、ご登録されているメールアドレスを変更される場合には、学会ホームページの「変更申請」に必要事項をご入力下さい。ご不明の点がありましたら、学会事務局にメールまたは電話にてご連絡下さい。今後ともJABA-MLによる学会情報の適時・的確な発信に一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

（広報担当常任理事 平野恭平）

## 日本経営学会ホームページでの会員書籍紹介の募集

学会ホームページでは、書籍の編著者である会員ご本人からの希望に基づいて、出版後1年以内の書籍の紹介を掲載することにしました。書籍紹介を希望される会員におかれましては、編著者名、書籍名、出版社、発売日、ISBN、定価（税抜）、必要があれば200字程度の紹介文を学会事務局までメールにてお送り下さい。掲載期間は、当面は掲載後1年間とします。なお、紹介文に不適切な表現がある場合には、修正をお願いする場合や掲載をお断りする場合があります。学会ホームページの充実にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（広報担当常任理事 平野恭平）

## 【学会事務所の業務改善の取り組み】

学会事務所の移転以降、学会事務所と会員等との連絡方法は、紙媒体の郵送からメール等の電子媒体にシフトしています。学会メールアドレスをオープンにしたことにより学会事務所への会員アクセスは大きく改善されました。この傾向は今後ますます増大するものと思われまます。以下、学会事務所の業務改善の取り組みとして、理事会で了承された事項について報告させていただきます。

### ①各種書類の電子発行について

年会費領収書等事務所発行の各種書類は電子発行に順次移行させていただいています。各種書類の電子発行は、事務処理の効率化と経費節約の両面で事務所機能の改善に貢献するものです。また、電子発行はほとんどの機関において問題なく受領されています。学会事務所では、今後とも、各種書類の電子発行を推し進めて参ります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

### ②会員番号の導入について

電子決済等の推進も含めまして学会事務所の機能を改善・強化する前提として、会員番号の導入が理事会で承認されました。近々、会員の皆様に会員番号をご案内させていただきます。これまでは、年会費の振込等ではく氏名＋所属機関＞が本人確認の手段でしたが、オンライン決済や所属機関による振込における振込人の確認、同姓同名会員の区別などの問題に対処することなどに限定して会員番号を利用させていただきます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

### ③払込取扱票以外の会費振込(年会費の電子決済)について

年会費は、学会発行の払込取扱票による納入（郵便振替）のほかに、金融機関のネットバンキングなどでも納入していただくことができます。年会費の納入方法の現状をまとめますと、下記の通りです。

- A) 赤色払込取扱票（郵便局からの振込納入）
- B) 大学経理など会員の所属機関による振込（請求書払い）
- C) 会員による銀行振込（銀行窓口やATM、インターネットバンキングの利用）
- D) 海外居住の会員による PayPal 決済（クレジットカード可）

なお、上記の会費の納入方法 A) ～D) の振込納入手数料のうち、A) 赤色払込取扱票（郵便局からの振込納入）と、D) PayPal 決済（クレジットカード払い）の手数料は学会で負担します。なお、B) と C) のインターネットバンキングの振込手数料は、振込人（会員あるいは所属機関）により状況が異なることもあり会員負担となります。

払込取扱票以外で納入の場合、振込人欄には必ず会員氏名と会員番号をご記入ください。また、所属機関が会費を振込まれる場合にも会員氏名が判るようにメール等で会員氏名と会員番号のご連絡をお願い致します。

〔振込先口座〕 ゆうちょ銀行 店番 〇一九（ゼロイチキユウ）当座 〇〇七五175

新年度（2020年度）会費よりネットバンキングによる会費納入を希望する会員は、8月末までに学会事務所にその旨をメールでご連絡いただき、新年度の年会費請求手続きの簡素化にご協力いただけますと助かります。

また、海外の会員（在外研究等を含む）がネットバンキング等で年会費の納入を希望される場合にはメールで学会事務所にお問い合わせください。上記のゆうちょ銀行の口座には海外からの振込ができません。他の金融機関の振込先口座あるいは PayPal による支払い方法をご案内します。クレジットカードによる年会費の支払いも PayPal 利用での対応ができますので、ご希望の会員は事務所にお問い合わせください。

（会計〔事務所〕担当常任理事 百田義治）

## 機関誌編集委員会からのお知らせ

『日本経営学会誌』第45号は、2020年8月刊行に向けて、現在、校正作業中です。第45号では、投稿論文（査読付き）7本、書評2本を掲載することができました。これは、投稿者、査読者、編集委員の相互信頼・協力関係のもと、厳格な審査基準による公明正大な査読体制が維持された結果であり、編集・査読にご協力をいただいた先生方には感謝申し上げます。

2020年3月末時点での機関誌編集状況を報告しておきます。投稿論文については、2018年24本の投稿があり10本が査読を通過し採択されました。採択率は41.7%で平均審査日数は149日でした。2019年は28本の投稿があり、現時点で6本が査読を通過し、なお複数の論文の審査が続いています。2020年は現時点で6本の投稿があり、これも審査が続いています。書評掲載については、2019年4本、2020年は現時点で2本の掲載希望があり、書評執筆中のものがまだ残っています。

投稿受付から査読通過までの審査日数(平均)が、2017年146日、2018年149日と、約5カ月かかっています。非常に手間と時間がかかる編集作業を行っていますが、その代わりに、質の高い査読付き論文を掲載し、機関誌の水準を高めることができます。

また、本年から、『日本経営学会誌』の通常号に加えて、『経営学論集』を機関誌と同じ様式で年1回刊行することになりました。通常号はすべて査読論文ですが、経営学論集号はすべて依頼論文となるため、査読論文と依頼論文の区別を明確にするため、第45号より各論文の冒頭に「査読付き論文」と明記することにいたしました。

『日本経営学会誌』では、投稿締切日を設けず、常時、意欲的な投稿論文を受け付けております。若手研究者に限らず、すべての会員の皆様の研究成果発表の場として学会誌をご活用いただきますようお願い申し上げます。

(機関誌編集委員長 井上善海)

## 国際委員会の活動について

国際委員会では、2020年7月2～6日にて、米国、フロリダ州、マイアミにて、国際経営学会(The Academy of International Business: AIB)の年次大会に先立ち、7月2～3日にて、日本ビジネス研究学会(The Association of Japanese Business Studies: AJBS)のなかで、経営学会とAJBSとのコラボとして、JABAセッションを企画して、経営学会会員に対して報告の募集を致しました。経営学会会員から8報告が予定をされていましたが、コロナウイルスの感染が懸念をされ、今年度のAJBSは来年まで延期となりました。ご応募を頂きました会員の先生方にはお礼を申し上げます。

2020年3月28日に、経営学会、関東部会(中央大学多摩キャンパス)にて、AJBSの副会長、京都大学・経営管理大学院、関口倫紀先生など、AJBSの会員にご参加をして頂き、AJBSセッションを開催予定でした。しかし、AJBSセッションも、当日の関東部会開催の中止とともに、中止となりました。なお、ご参加をして頂く予定でありました、AJBS、経営学会の会員の先生には、その記録として、以下に、予定をされておりましたAJBSのプログラムを掲載させていただきます。なお、所属は、当日のものです。

AJBSセッション(英語での開催) 司会: 中央大学 咲川 孝 氏

1) AJBS (The Association of Japanese Business Studies) の紹介

京都大学 関口 倫紀 氏 (AJBS 副会長)、早稲田大学 竹内 規彦 氏 (AJBS 元会長)

2) 研究報告

第1報告: The logic of malfunctions of emergent strategy in large Japanese companies

国士舘大学 水野 由香里 氏

第2報告: Influences by foreign investors on Japanese corporate payout policy and employment

明治大学 三和 裕美子 氏、金沢星稜大学 壺内 慎二 氏

司会・コメンテータ: 中央大学 木村 有里 氏

3) AJBS 2020年次大会の紹介

学習院大学 鄭 有希 氏 (AJBS 2020年次大会プログラム委員長)

IFSAM 第15回世界大会が2020年度10月にブラジルで開催されますことを、経営学会の会員各位にJABAネットを通じまして、お知らせをさせていただきました。ブラジルにおきましても、コロナウイルスの感染の拡大が懸念されておりますため、IFSAMにおいて大会開催が憂慮されております。IFSAMからさらなる情報がもたらされ次第、お知らせいたします。

(国際担当常任理事 咲川 孝)

## 倫理委員会の活動について

加藤志津子前委員長より引き継ぎを受けた事項として、二重発表の問題があります。このことに関しては、同委員長より、『提言: 「二重発表」について(案)』が2019年9月3日付けで理事会に提示され議論されました。そこでは、二重発表の定義から、それに纏わる報告申請書まで議論されましたが、どの点も、今期に引き継ぐことのみが決定されています。

いわば、二重発表の問題については、これから出発しなければならない問題であります。このような状況の中、この問

題については、二重発表をどのように見るかという立ち位置を検討することから始める必要があると考えます。その上でどのような形で成案を見るかは分かりませんが、倫理委員会の先生方とご相談しながら、慎重に思慮して進めていきたいと考えています。会員の先生方からもご意見を頂ければ幸いです。

(倫理委員会委員長 渡辺敏雄)

## 事務所連絡事項

### 【会員情報の変更届に関するお願い】

所属機関や住所など会員情報に変更がある場合には、日本経営学会ホームページ(<http://keiei-gakkai.jp/>)の「変更申請」より「登録内容変更フォーム」に必要事項をご記入の上、送信してください。学会事務所より更新完了のご連絡をメールでさせていただきます。

### 【新たな会員種別について】

個人会員の会員種別に、これまでの会員、シニア会員（新規募集は停止）に加えて、特別会員、名誉会員、特別名誉会員が新設されました。一定の条件を満たす会員はご本人からの申請と理事会における承認により、特別会員、名誉会員、特別名誉会員になることができます。詳細は学会ホームページから日本経営学会規則の内規 12 をご参照ください。

また、昨年度、新たな会員種別として法人会員も新設され、新規会員を募集しています。詳しくは、学会ホームページの「会員制度」および日本経営学会規則の内規 13 をご参照ください。

なお、個人会員と法人会員の学会費の詳細につきましても学会ホームページをご参照ください。

(事務所幹事 山田雅俊)

〒162-0808 東京都新宿区天神町 78  
日本経営学会事務所  
担当 村上真紀  
03-3267-0200 [jaba@keiei-gakkai.jp](mailto:jaba@keiei-gakkai.jp)